

祈禱会の皆様、

おはようございます！（夜の祈禱会の皆様、こんばんは！）祈禱会の時間です！

【テーマ】「二人の牧者」

【聖書のみ言葉】ゼカリヤ 11:1-17 を読みましょう。

【解説】

イスラエルは主によって裁かれる(1-3)。それは神が送った良い牧者をイスラエルが拒否したから(4-14)。

主はゼカリヤに言った。苦難にあるイスラエルの群れを飼いなさい(4)。彼らを奴隷として買った牧者たちは彼らを苦しめても罪の意識はなく、彼らを売った彼らの指導者も自分の私欲だけを求める(5)。それは、主が、歴史的にはローマ帝国などの敵の手に、イスラエルの民が渡されるままにされるから(6)。

ゼカリヤは、慈愛と結合の二本の杖を手にとり、イスラエルの群れを飼った(7)。そして、当時の三人の指導者を退任させた(8)。また、歴史的には西暦 70 年のローマ帝国によるエルサレム侵略の時に実際に起こったが、民が互いに滅ぼし合うままにする(9)。隣国との安全保障契約を破棄することで、慈愛の杖を折った(10)。そして実際に破棄されたことで、イスラエルはゼカリヤの言葉が真実であることを知った(11)。「私に賃金を払うか、私との関係をやめるか選びなさい」と言うほどに、彼らが賃金を支払っても、それは投げ与えられるものであるほどに、イスラエルはゼカリヤの言葉、つまり主の言葉を受け入れなかった(12)。(13)。更に、ゼカリヤはユダとイスラエルの関係も破棄させたことで、結合の杖も折った。そして、イスラエルは崩壊した(14)。

主はゼカリヤに続けて言われた。イスラエルが主から送られた良い牧者ゼカリヤを拒否したので、愚かな牧者がイスラエルに起こされる(15)。歴史的には、旧約と新約の間の中間期やその後の時代に現れた、ローマ帝国に対する改革者たちであると考えられるが、彼は群れを破壊する(16)。彼らは災いである(17)。

しかし、イエスの「ぶどう園と農夫」の譬にあるように(マタイ 21:33-43)、神はご自身が送った預言者たちを繰り返し拒否したイスラエルをあきらめず、独り子イエスを送った。イエスこそ良い牧者です(ヨハネ 10:10-11)。

【適用】

良い牧者であるイエス様は私たちを愛し、私たちを知り、私たちを緑の牧場へと導いて下さいます(詩篇 23、ヨハネ 10)。今週残りの日々もイエス様を受け入れ、イエス様のみ言葉に従いましょう。

【祈り】 下記の祈りの課題を覚えて祈りましょう(主に、週報から)。その他にも個人的な祈りの課題があれば、祈りましょう。

(週報から)

・コロナ禍における 10 月の教会活動が恵まれるように。次週からCSや祈禱会など再開。10/10 女性会  
オンライン例会開催。

・新型コロナウイルスが一日も早く終息するように。互いに守られるように。

10 月は幼稚園月間。新入園児募集のために。10/15 願書配布・説明会。

・みことば配信「ともしび」が始まりました。ご希望の方で登録されていない方は教会までご連絡下さい。

・教会財政が厳しい状況にあります。献金が満たされるように(銀行振込又は牧師に手渡し可)

・福音の集いのために。講師の田坂元彦牧師(横浜ニューライフ)のために。祈りのカードを利用しまし  
う。

・礼拝堂での礼拝を感謝して。

・祈禱会のレジュメ配信が用いられるように。

・次週主日礼拝式のために。

・闘病中の方々、遠方の方々を覚えて。

今回でレジュメ配信は最後となります。数か月間、ありがとうございました！

次週 10/13(水)からは礼拝堂で祈禱会を共にささげましょう。

百合丘キリスト教会

川井信雄